

令和5年度 第3回役員会議事録

日時 令和6年3月28日(木) 9:54~11:12
場所 本部棟2階 小会議室1
出席者 沖理事長、中村副理事長、松田理事、五福理事、佐藤理事 [5名/5名]
〔監事〕青木監事、上尾監事 [2名/2名]
(事務局)井上次長、大坪課長、平田課長、阿部経理班長、富山主幹(グループリーダー)
森山主事、吉賀総務班長

1 開会

2 議事録の確認

令和5年度第2回(令和5年9月29日開催)の議事録案は承認された。

3 議題

[1] 審議事項

(1) 第3期中期計画 令和6年度計画(案)について

・事務局から別添資料1により説明があり、原案どおり承認された。

(2) 公立大学法人岡山県立大学役員報酬規程の一部改正(案)について

・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認された。

(3) デザイン学研究科の再編に伴う大学院学則の改正(案)について

・事務局から資料2により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

(問) 少子化に伴い定員に達していない大学もあると聞いており、より充実したものとなるよう取り組んでほしい。

(答) お話のとおり、より一層、教育の質の向上等を図ってまいりたい。

(4) 大学院の授業科目の先取履修制度の導入について

・事務局から資料3により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

(問) 学生からのニーズに基づき、導入することを検討したのか。

(答) 学生ファーストの観点から、大学として検討を進めたものである。

(問) 大学院への進学を志望する学部生にとって、良い制度だと思う。(意見)

(5) 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R)終了後の副専攻制度について

・佐藤理事から資料4により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

(問) 大学が地域社会と関わる非常に良い取り組みだが、助成はどの程度か。

(答) 令和3~6年度の4年間、国から補助金が交付される。補助率については、初年度からの2年間は9割、3年目は7割、最終年度の次年度は4割と年々減少し、終了する予定である。

(問) 先取履修制度との組み合わせだと思いが、是非継続してほしい。企業においては、新しい能力を身に付けるなど意識改革を図るため、リカレント教育の重要性が認識されているが、受講実績をご教示願いたい。

(答) 学外履修者の状況について、令和3年度は延べ71名(実人数48名)、4年度は延べ144名(実人数106名)、5年度は延べ199名(実人数157名)であった。

(問) ICTなど、経済界から要望があるのではないか。

(答) 企業のニーズを適切に把握し、その期待に応えられるよう取り組んでまいりたい。

(6) 令和5年度 補正予算(第2回)(案)について

・事務局から資料5により説明があり、原案どおり承認された。

(7) 令和6年度 当初予算(案)について

・事務局から資料6により説明があり、原案どおり承認された。

[2] 報告事項

(1) 公立大学法人岡山県立大学定款変更について

・事務局から資料7により報告があった。

(2) 公立大学法人岡山県立大学職員給与関係規程等の改正について

・事務局から資料8により報告があった。

(3) 公立大学法人岡山県立大学教育研究審議会規程の一部改正について

・事務局から資料9により報告があった。

(4) 研究費の不正使用防止等に関する取組状況について

・青木監事及び上尾監事から資料10により報告があった。

【意見等】

(問) 一般論ではあるが、研究費の不正使用は出張関係が多いと聞いている。一方、教員の経費負担等について検討する必要があることから、次年度以降、その精算方法などを提案してまいりたい。(意見)

(5) 岡山県立大学名誉教授の称号の授与について

・事務局から資料11により報告があった。

(6) 教員の採用等について

・事務局から資料12により報告があった。

(7) 職員の採用について

・事務局から資料13により報告があった。

[3] その他

次回の開催は令和6年6月28日(金)とされた。